議案第 35 号

辺地に係る公共的施設の総合整備計画について

次の辺地に係る公共的施設の総合整備計画を別紙のとおり策定することについて、辺地に係る公共的施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律（昭和 37 年法律第 88 号）第３条第１項の規定により、本議会の議決を求める。

平成 28 年３月３日

三朝町長　　吉　田　秀　光

辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定した辺地

竹田Ａ辺地	竹田Ｂ辺地
竹田Ｃ辺地	旭　　辺地
旭　Ｃ辺地	小鹿　辺地
小鹿Ｂ辺地	東小鹿辺地

辺地に係る公共的施設の総合整備計画書（案）

鳥取県三朝町

１．公共的施設の整備計画（総括表）

（平成 28 年度から平成 32 年度まで）

単位：千円

区　　分	事　業　費	財　源　内　訳		一般財源のうち辺地債予定額	備　　考
		特定財源	一般財源		
竹田Ａ辺地（下畑、三軒屋、田代、大谷）	40,000	7,100	32,900	32,900	
竹田Ｂ辺地（加谷、木地山）	142,000	81,200	60,800	60,800	
竹田Ｃ辺地（福本、福山、上西谷）	47,000	28,700	18,300	18,300	
旭　辺　地（福吉、柿谷、実光、太郎田、鉛山）	101,000	55,900	45,100	45,100	
旭 Ｃ 辺 地（下谷）	8,000	0	8,000	8,000	
小 鹿 辺 地（中津、神倉）	193,000	0	193,000	193,000	
小鹿Ｂ辺地（西小鹿、井土）	113,000	63,000	50,000	50,000	
東小鹿辺地（東小鹿）	58,000	29,400	28,600	28,600	
計	702,000	265,300	436,700	436,700	

竹田Ａ辺地に係る総合整備計画書

鳥取県東伯郡三朝　　竹田Ａ辺地

（辺地の人口　78 人　　面積 35.4 ｋ㎡）

１．辺地の概況

(1)　辺地を構成する町又は字の名称　　下畑、三軒屋、田代、大谷

(2)　辺地の中心位置　　下畑

(3)　辺地度点数　　131　点

２．公共施設の整備を必要とする事情

(1)　道路整備

ア．町道

・町道若杉線改良舗装事業（大谷）

大谷集落は、岡山県と中国山地で接する本町の最奥部集落の一つで、過疎化、高齢化の著しい集落です。

当路線は、大谷集落と県境を結ぶ町道の一部であり、災害時には集落が孤立しないための迂回路として使用されるなど、当路線は地域にとって重要な役割を担っています。

しかし、当路線は幅員が狭くしかも急勾配の屈曲した道路であるため、通行に大変苦慮しています。

このことから、地域の豊かな生活を推進するため、当路線の改良舗装整備を図ります。

・町道大谷線改良舗装事業（大谷）

本路線は県境を越えた交流を促す唯一の路線です。また、災害時には集落が孤立しないための迂回路として使用されるなど、当路線は地域にとって重要な役割を担っています。

しかし、当路線は幅員が狭くしかも急勾配の屈曲した道路であるため、通行に大変苦慮しています。

このことから、地域の豊かな生活を推進するため、当路線の改良舗装整備を図ります。

イ．林道

・林道三朝南線災害防除工事（大谷工区）

加谷・大谷地区は、周囲を豊富な森林資源に囲まれており、本町の林業振興に大きく貢献している地域でありますが、両地区を結ぶ林道について開設から十数年経過しているうえ、落石などが発生し通行の安全確保が問題となっています。

このため、災害を未然に防止するためのロックネット等安全施設を整備し、集落住民の通行の安全を確保します。また、当路線を改良することにより、一帯の豊富な森林資源の有効活用と開発を推進するとともに、林業作業を容易にし、林業経営の向上と安定を目指します。

(2)　交通・通信体系の整備

・除雪機械整備事業（小型ロータリー除雪機整備）（下畑）

本地域は中国山地の懐に位置する山間集落であり、高齢化の進行が著しい集落です。冬期間は積雪が多く、高齢者世帯の多い本地域では、集落内の歩道や幅員の狭い道路の除雪作業が困難を極める状況となっています。

このため、本地域に小型の除雪機を配備し、除雪ボランティアによる除雪作業を住民自らが行うことにより、作業の迅速化と効率化を図り、安心・安全な生活環境を確保します。

(3)　消防施設の整備

・小型動力ポンプ整備（下畑）

下畑集落に整備している小型動力ポンプは、かなり老朽化しています。小さな集落内で火災が起きた場合、初期消火にあたる自衛消防団にとって小型動力ポンプは重要な役割を果たします。

新しく小型動力ポンプを整備することにより、地区住民の生活を守る自衛消防団の活動を支援します。

・防火用水槽整備事業（三軒屋）

当該集落における防火用水槽は自然水を取り込む無蓋の防火水槽で、老朽化しています。無蓋であるため、安全の確保が十分でないことや、水槽内には沈殿物がたまり災害時に、十分な防火用水としての役割が見込めない可能性があります。火災時の初期消火には、十分な水利の確保が必要不可欠です。

新しく当該施設を整備し、地区住民の生活の安全確保を図ります。

３．公共的施設の整備計画（竹田Ａ辺地：下畑、三軒屋、田代、大谷）

（平成 28 年度から平成 32 年度まで）　　単位：千円

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地債予定額	備考
施設名	事業主体		特定財源	一般財源		
道路整備						
町道若杉線改良舗装事業（大谷）	三朝町	6,000	3,900	2,100	2,100	社会資本整備事業
町道大谷線改良舗装事業（大谷）	〃	5,000	3,200	1,800	1,800	〃
林道三朝南線災害防除工事（大谷工区）	〃	16,000	0	16,000	16,000	単独事業
交通・通信体系の整備						
小型ロータリー除雪機整備事業（下畑）	三朝町	4,000	0	4,000	4,000	単独事業
消防施設の整備						
小型動力ポンプ整備事業（下畑）	三朝町	2,000	0	2,000	2,000	単独事業
防火用水槽整備事業（三軒屋）	〃	7,000	0	7,000	7,000	〃
計		40,000	7,100	32,900	32,900	

竹田Ｂ辺地に係る総合整備計画書

鳥取県東伯郡三朝　　竹田Ｂ辺地

（辺地の人口　142 人　　面積 17.4 ｋ㎡）

１．辺地の概況

(1)　辺地を構成する町又は字の名称　　加谷、木地山

(2)　辺地の中心位置　　加谷

(3)　辺地度点数　　123　点

２．公共施設の整備を必要とする事情

(1)　道路整備

ア．町道

・町道高清水高原線災害防除・改良舗装事業（木地山）

木地山集落は、岡山県と中国山地で接する本町の最奥部集落の一つで、過疎化、高齢化の著しい集落です。

本線は、従来、国道として本町と岡山県を往来するために利用しており、現在は、町道となっていますが、災害等で人形峠付近の国道が寸断された場合のう回路として地域はもとより、町や県にとって重要な役割を担っている町道です。

しかし、当路線は幅員が狭くしかも急勾配の屈曲した道路であるため、落石などが発生し通行の安全確保が問題となっています。

このため、災害を未然に防止するためのロックネットなど安全施設および改良舗装を実施し、集落住民の通行の安全を確保します。

イ．林道

・林道福吉木地山線災害防除事業（木地山工区）

本林道は、地域の豊富な森林資源と山地の有効活用と開発を促進するとともに林業の施業を容易にし、林業経営の向上、安定を目指し、また、広域的な道路として点在する集落を有機的に結ぶことにより地域住民の利便を向上させる目的で開設されたものです。

しかし、開設から十数年経過しているうえ、落石などが発生し通行の安全確保が問題となっています。

このため、災害を未然に防止するためのロックネットなど安全施設を整備し、集落住民の通行の安全を確保します。

・林道三朝南線災害防除工事（加谷工区）

加谷・大谷地区は、周囲を豊富な森林資源に囲まれており、本町の林業振興に大きく貢献している地域でありますが、両地区を結ぶ林道について開設から十数年経過しているうえ、落石などが発生し通行の安全確保が問題となっています。

このため、災害を未然に防止するためのロックネットなど安全施設を整備し、集落住民の通行の安全を確保します。また、当路線を改良することにより、一帯の豊富な森林資源の有効活用と開発を推進するとともに、林業作業を容易にし、林業経営の向上と安定を目指します。

(2)　交通・通信体系の整備

・除雪機械整備事業（小型ロータリー除雪機整備）（木地山）

本地域は中国山地の懐に位置する山間集落であり、高齢化の進行が著しい集落です。冬期間は積雪が多く、高齢者世帯の多い本地域では、集落内の歩道や幅員の狭い道路の除雪作業が困難を極める状況となっています。

このため、本地域に小型の除雪機を配備し、除雪ボランティアによる除雪作業を住民自らが行うことにより、作業の迅速化と効率化を図り、安心・安全な生活環境を確保するものです。

(3)　消防施設の整備

・小型動力ポンプ整備事業（加谷）

加谷集落に整備している小型動力ポンプは、かなり老朽化しています。小さな集落内で火災が起きた場合、初期消火にあたる自衛消防団にとって小型動力ポンプは重要な役割を果たします。

新しく小型動力ポンプを整備することにより、地区住民の生活を守る自衛消防団の活動を支援します。

(4)　教育文化施設

・公民館その他集会施設整備（集落公民館整備事業補助）（加谷）

当該地域にある集落公民館は、建設時期が古く老朽化が進んでいること。また、利用者の多くが高齢者でありながら、玄関や部屋の段差が高いなど当該集落のコミュニティー活動の中心施設としての機能を十分に果たしていません。コミュニティー活動が活性化し、安心して施設が利用できるように公民館改築（バリアフリー化）に対し助成を行い、地域の活性化を図ります。

３．公共的施設の整備計画（竹田Ｂ辺地：加谷、木地山）

（平成 28 年度から平成 32 年度まで）　　単位：千円

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地債予定額	備考
施設名	事業主体		特定財源	一般財源		
道路整備						
町道高清水高原線災害防除・改良舗装事業（木地山工区）	三朝町	119,000	77,300	41,700	41,700	社会資本整備事業
林道福吉木地山線災害防除事業（木地山工区）	〃	8,000		8,000	8,000	単独事業
林道三朝南線災害防除工事（加谷工区）	〃	4,000		4,000	4,000	〃
交通・通信体系の整備						
小型ロータリー除雪機整備事業（木地山）	三朝町	4,000		4,000	4,000	単独事業
消防施設の整備						
小型動力ポンプ整備事業（加谷）	三朝町	2,000		2,000	2,000	単独事業
教育文化施設						
集落公民館整備事業補助（加谷）	区	5,000	3,900	1,100	1,100	単独事業
計		142,000	81,200	60,800	60,800	

竹田Ｃ辺地に係る総合整備計画書

鳥取県東伯郡三朝　　竹田Ｃ辺地
（辺地の人口　59 人　　面積 16.9k ㎡）

１．辺地の概況

(1)　辺地を構成する町又は字の名称　　福本、福山、上西谷

(2)　辺地の中心位置　　上西谷

(3)　辺地度点数　　110　点

２．公共施設の整備を必要とする事情

(1)　道路整備

ア．町道

・町道福本本線改良舗装事業（福本）

本路線は、福本集落から国道を結ぶ町道であり、唯一の生活道路ですが、改良から十数年経過し路面の陥没や舗装面の劣化などがみられ、車両の通行に支障をきたす恐れがあることから、路肩の補強、路面及び路盤の改良工事を行い安全性の確保と利便性の向上を図ります。

イ．橋りょう

・橋りょう改良工事（町道福本本線：福本橋）

本町では、橋梁の長寿命化を図るため順次調査し計画的に修繕など実施し、橋梁の長寿命化の促進を図っているところです。

本地域に架かる橋は、設置からの年数が経過し橋脚部分に亀裂が生じているなど危険な状態が見受けられます。安全・安心して集落内の橋を利用できるよう、橋の状況を調査した上で、必要な箇所を改善します。

(2)　産業の振興

・集落営農農業機械整備補助事業（福山）

本地域は小規模農家による水田が広がる農業振興地域です。山間地域であるため、農業経営主の高齢化が進み各個人では後継者不足が深刻な問題になっています。

集落営農としての農業機械を整備することにより、集落単位で農業を支え、農地の荒廃を防ぎ、地域の活性化を進めます。

３．公共的施設の整備計画（竹田Ｃ辺地：福本、福山、上西谷）

（平成 28 年度から平成 32 年度まで）　　単位：千円

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地債予定額	備考
施設名	事業主体		特定財源	一般財源		
道路整備						
町道福本本線改良舗装事業（福本）	三朝町	5,000	3,200	1,800	1,800	社会資本整備事業
橋りょう改良工事（町道福本本線：福本橋）	三朝町	30,000	19,500	10,500	10,500	社会資本整備事業
産業の振興						
集落営農農業機械整備補助事業（福山）	区	12,000	6,000	6,000	6,000	単独事業
計		47,000	28,700	18,300	18,300	

旭辺地に係る総合整備計画書

鳥取県東伯郡三朝　　旭辺地

（辺地の人口　62 人　　面積 21.7 ｋ㎡）

１．辺地の概況

(1)　辺地を構成する町又は字の名称　　福吉、柿谷、実光、太郎田、鉛山

(2)　辺地の中心位置　　太郎田

(3)　辺地度点数　　138　点

２．公共施設の整備を必要とする事情

(1)　道路整備

ア．町道

・町道実光神倉線災害防除事業（実光工区）

当路線は、高勢地区と小鹿地区を結ぶ路線ですが、急峻な山あいに位置しているため、切土の法面が多く、改良から十数年経過しているうえ、落石などが発生し通行の安全確保が問題となっています。

このため、災害を未然に防止するためのロックネットなど安全施設を整備し、集落住民の通行の安全を確保します。

イ．林道

・林道福吉木地山線災害防除事業（福吉工区）

本林道は、地域の豊富な森林資源と山地の有効活用と開発を促進するとともに林業の施業を容易にし、林業経営の向上、安定を目指し、また、広域的な道路として点在する集落を有機的に結ぶことにより地域住民の利便を向上させる目的で開設されたものです。

しかし、開設から十数年経過しているうえ、落石などが発生し通行の安全確保が問題となっています。

このため、災害を未然に防止するためのロックネットなど安全施設を整備し、集落住民の通行の安全を確保します。

(2)　交通・通信体系の整備

・除雪機械整備事業（小型ロータリー除雪機整備）（柿谷）

本地域は中国山地の懐に位置する山間集落であり、高齢化の進行が著しい集落です。冬期間は積雪が多く、高齢者世帯の多い本地域では、集落内の

歩道や幅員の狭い道路の除雪作業が困難を極める状況となっています。

このため、本地域に小型の除雪機を配備し、除雪ボランティアによる除雪作業を住民自らが行うことにより、作業の迅速化と効率化を図り、安心・安全な生活環境を確保するものです。

(3)　教育文化施設

・公民館その他集会施設整備（集落公民館整備事業補助）（実光）

当該地域にある集落公民館は、建設時期が古く老朽化が進んでいること。また、利用者の多くが高齢者でありながら、玄関や部屋の段差が高く、トイレも和式であるなど当該集落のコミュニティー活動の中心施設としての機能を十分に果たしていません。コミュニティー活動が活性化し、安心して施設が利用できるように公民館改築（バリアフリー化）に対し助成を行い、地域の活性化を図ります。

３．公共的施設の整備計画（旭辺地：福吉、柿谷、実光、太郎田、鉛山）

（平成 28 年度から平成 32 年度まで）　　単位：千円

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地債予定額	備考
施設名	事業主体		特定財源	一般財源		
道路整備						
町道実光神倉線災害防除事業（実光工区）	三朝町	80,000	52,000	28,000	28,000	社会資本整備事業
林道福吉木地山線災害防除事業（福吉工区）	〃	12,000		12,000	12,000	単独事業
交通・通信体系の整備						
小型ロータリー除雪機整備事業（柿谷）	三朝町	4,000		4,000	4,000	単独事業
教育文化施設						
集落公民館整備事業補助（実光）	区	5,000	3,900	1,100	1,100	単独事業
計		101,000	55,900	45,100	45,100	

旭Ｃ辺地に係る総合整備計画書

鳥取県東伯郡三朝　　旭Ｃ辺地

（辺地の人口　53 人　　面積 2.9 ｋ㎡）

１．辺地の概況

(1)　辺地を構成する町又は字の名称　　下谷

(2)　辺地の中心位置　　下谷

(3)　辺地度点数　　100　点

２．公共施設の整備を必要とする事情

(1)　道路整備

・道路の付属物（積雪監視カメラ施設）

当該集落は、三朝町の中央部に位置し、過疎化、高齢化の進行が著しい集落です。冬季間は積雪が多く、集落の主要道路は除雪作業なしには通行できない状況となり、集落が孤立する危険性があります。

このため、当該集落の主要路線に積雪監視カメラを設置することにより、積雪時の状況を常に把握し、除雪作業を迅速に対応することで、住民生活の安全確保を図ります。

(2)　交通・通信体系の整備

・除雪機械整備事業（小型ロータリー除雪機整備）

本地域は中国山地の懐に位置する山間集落であり、高齢化の進行が著しい集落です。冬期間は積雪が多く、高齢者世帯の多い本地域では、集落内の歩道や幅員の狭い道路の除雪作業が困難を極める状況となっています。

このため、本地域に小型の除雪機を配備し、除雪ボランティアによる除雪作業を住民自らが行うことにより、作業の迅速化と効率化を図り、安心・安全な生活環境を確保するものです。

３．公共的施設の整備計画（旭Ｃ辺地：下谷）

（平成 28 年度から平成 32 年度まで）　　単位：千円

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地債予定額	備考
施設名	事業主体		特定財源	一般財源		
道路整備						
道路の付属物　積雪監視カメラ施設整備事業	三朝町	4,000		4,000	4,000	単独事業
交通・通信体系の整備						
小型ロータリー除雪機整備事業	三朝町	4,000		4,000	4,000	単独事業
計		8,000		8,000	8,000	

小鹿辺地に係る総合整備計画書

鳥取県東伯郡三朝　　小鹿辺地

（辺地の人口　75 人　　面積 30.5 ｋ㎡）

１．辺地の概況

(1)　辺地を構成する町又は字の名称　　中津、神倉

(2)　辺地の中心位置　　神倉

(3)　辺地度点数　　128　点

２．公共施設の整備を必要とする事情

(1)　道路整備

ア．林道

・林道俵原中津線開設工事（中津工区）

中津集落から俵原集落に至る一帯は豊富な森林資源に恵まれ、従来から盛んに林業が営まれてきました。

しかし、林道整備の遅れにより、育林、営林作業および林産物の生産等林業活動に支障をきたしています。

このため、当路線を開設することにより、単に地域内の林業振興に寄与するだけでなく、集落を結ぶ道路として集落間をはじめさまざまな交流を可能とし、地域の生活環境の向上を図り、地域の活性化を進めます。

・林道若桜江府線災害防除等整備事業（中津）

中津集落は、鳥取市と接する本町の最奥部集落の一つで、過疎化、高齢化の著しい集落です。本路線は、災害などの緊急時において他地域への迂回路として利用でき、地域住民への利便性を向上させおり、町境を越えた交流を促す唯一の路線でもあります。

しかし、近年、豪雪や豪雨に再三見舞われ、土砂崩れや落石などが頻繁に発生し通行の安全確保が問題となっています。

このため、災害を未然に防止するための防護柵、ロックネットなど安全施設を整備し、集落住民の通行の安全を確保します。

(2)　消防施設の整備

・防火用水槽整備事業

当該集落における防火用水槽は自然水を取り込む無蓋の防火水槽（２箇所）が、老朽化しています。無蓋であるため、安全の確保が十分でないこと

や、水槽内に沈殿物がたまり災害時に、十分な防火用水としての役割が見込めない可能性があります。火災時の初期消火には、十分な水利の確保が必要不可欠です。

新しく当該施設を整備し、地区住民の生活の安全確保を図ります。

３．公共的施設の整備計画（小鹿辺地：中津、神倉）

（平成 28 年度から平成 32 年度まで）　　単位：千円

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地債予定額	備考
施設名	事業主体		特定財源	一般財源		
道路整備						
林道俵原中津線開設工事（中津工区）	三朝町	13,000		13,000	13,000	県営事業
林道若桜江府線災害防除等整備事業（中津）	〃	166,000		166,000	166,000	単独事業
消防施設の整備						
防火用水槽整備事業（神倉２箇所）	三朝町	14,000		14,000	14,000	単独事業
計		193,000		193,000	19,300	

小鹿Ｂ辺地に係る総合整備計画書

鳥取県東伯郡三朝　　小鹿Ｂ辺地
（辺地の人口　159 人　　面積 4.6 ｋ㎡）

１．辺地の概況

(1)　辺地を構成する町又は字の名称　　西小鹿、井土

(2)　辺地の中心位置　　西小鹿

(3)　辺地度点数　　105　点

２．公共施設の整備を必要とする事情

(1)　道路整備

ア．町道

・町道井土線改良舗装事業（井土）

当路線は、県道と井土集落を結ぶ唯一の生活道路ですが、改良から十数年経過し路面の陥没や舗装面の劣化等がみられ、車両の通行に支障をきたす恐れがあることから、路肩の補強、路面及び路盤の改良工事を行い安全性の確保と利便性の向上を図ります。

・町道実光神倉線災害防除事業（小鹿工区）

当路線は、高勢地区と小鹿地区を結ぶ路線ですが、急峻な山あいに位置しているため、切土の法面が多く、改良から十数年経過しているうえ、落石などが発生し通行の安全確保が問題となっています。

このため、災害を未然に防止するためのロックネットなど安全施設を整備し、集落住民の通行の安全を確保します。

(2)　交通・通信体系の整備

・除雪機械整備事業（小型ロータリー除雪機整備）（西小鹿）

本地域は中国山地の懐に位置する山間集落であり、高齢化の進行が著しい集落です。冬期間は積雪が多く、高齢者世帯の多い本地域では、集落内の歩道や幅員の狭い道路の除雪作業が困難を極める状況となっています。

このため、本地域に小型の除雪機を配備し、除雪ボランティアによる除雪作業を住民自らが行うことにより、作業の迅速化と効率化を図り、安心・安全な生活環境を確保するものです。

(3)　消防施設の整備

・小型動力ポンプ付き積載車整備事業（西小鹿）

西小鹿集落に整備している小型動力ポンプ付き積載車は、整備から数十年経過しており老朽化がみられます。西小鹿集落はもちろん、小鹿地内などの広域で火災が起きた場合、初期消火にあたる消防団にとって積載車および小型動力ポンプは重要な役割を果たします。

新しく小型動力ポンプ付き積載車を整備することにより、地区住民の生活を守る自衛消防団の活動を支援します。

(4)　飲料水供給施設整備

・井土飲用水供給施設改良事業（井土）

本町の簡易水道普及率は約 98%であり水道施設は、ほぼ整備されていますが、昭和 30 年代から整備してきた簡易水道施設は老朽化が進んでおり、本管の破裂などにより日常生活に支障を来たす施設が出ていることから計画的に新設管に布設替えしているところです。

飲用水の安定供給は地域住民が健康的な生活をするうえでの基本となります。当該地域の老朽化した飲用水供給施設（消火栓含む）を改良し、地域住民の健康的な生活の維持に役立てます。

(5)　教育文化施設

・公民館その他集会施設整備（集落公民館整備事業補助）（井土）

当該地域にある集落公民館は、建設時期が古く老朽化が進んでいること。また、利用者の多くが高齢者でありながら、玄関や部屋の段差が高く、トイレも和式であるなど当該集落のコミュニティー活動の中心施設としての機能を十分に果たしていません。コミュニティー活動が活性化し、安心して施設が利用できるように公民館改築（バリアフリー化）に対し助成を行い、地域の活性化を図ります。

３．公共的施設の整備計画（小鹿Ｂ辺地：西小鹿、井土）

（平成 28 年度から平成 32 年度まで）　　単位：千円

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地債予定額	備考
施設名	事業主体		特定財源	一般財源		
道路整備						
町道井土線改良舗装事業（井土）	三朝町	4,000	2,600	1,400	1,400	社会資本整備事業
町道実光神倉線災害防除事業（小鹿工区）	〃	80,000	52,000	28,000	28,000	〃
交通・通信体系の整備						
小型ロータリー除雪機整備事業（西小鹿）	三朝町	4,000		4,000	4,000	単独事業
消防施設の整備						
小型動力ポンプ付き積載車整備事業（西小鹿）	三朝町	11,000		11,000	11,000	単独事業
飲料水供給施設整備						
井土飲用水供給施設改良事業（井土）	三朝町	9,000	4,500	4,500	4,500	単独事業
教育文化施設						
集落公民館整備事業補助（井土）	区	5,000	3,900	1,100	1,100	
計		113,000	63,000	50,000	50,000	

東小鹿辺地に係る総合整備計画書

鳥取県東伯郡三朝　　東小鹿辺地
（辺地の人口　106 人　　面積 3.5 ｋ㎡）

１．辺地の概況

(1)　辺地を構成する町又は字の名称　　東小鹿

(2)　辺地の中心位置　　東小鹿

(3)　辺地度点数　　108　点

２．公共施設の整備を必要とする事情

(1)　道路整備

ア．橋りょう

・橋りょう改良工事（町道実光神倉線：小鹿橋）

本町では、橋梁の長寿命化を図るため順次調査し計画的に修繕等実施し、橋梁の長寿命化の促進を図っているところです。

本地域に架かる橋は、設置からの年数が経過し橋脚部分に亀裂が生じているなど危険な状態が見受けられます。安全・安心して集落内の橋を利用できるよう、橋の状況を調査した上で、必要な箇所を改善します。

(2)　産業の振興

・集落営農農業機械整備補助事業

本地域は小規模農家による水田が広がる農業振興地域です。山間地域であるため、農業経営主の高齢化が進み各個人では後継者不足が深刻な問題になっています。

集落営農としての農業機械を整備することにより、集落単位で農業を支え、農地の荒廃を防ぎ、地域の活性化を進めます。

(3)　交通・通信体系の整備

・除雪機械整備事業（小型ロータリー除雪機整備）

本地域は中国山地の懐に位置する山間集落であり、高齢化の進行が著しい集落です。冬期間は積雪が多く、高齢者世帯の多い本地域では、集落内の歩道や幅員の狭い道路の除雪作業が困難を極める状況となっています。

このため、本地域に小型の除雪機を配備し、除雪ボランティアによる除雪作業を住民自らが行うことにより、作業の迅速化と効率化を図り、安心・安全な生活環境を確保するものです。

(4)　消防施設の整備

・防火用水槽整備事業

当該集落における防火用水槽は自然水を取り込む無蓋の防火水槽で、老朽化しています。無蓋であるため、安全の確保が十分でないことや、水槽内には沈殿物がたまり災害時に、十分な防火用水としての役割が見込めない可能性があります。火災時の初期消火には、十分な水利の確保が必要不可欠です。

新しく当該施設を整備し、地区住民の生活の安全確保を図ります。

(5)　教育文化施設

・公民館その他集会施設整備（集落公民館整備事業補助）

当該地域にある集落公民館は、建設時期が古く老朽化が進んでいること。また、利用者の多くが高齢者でありながら、玄関や部屋の段差が高いなど当該集落のコミュニティー活動の中心施設としての機能を十分に果たしていません。コミュニティー活動が活性化し、安心して施設が利用できるように公民館改築（バリアフリー化）に対し助成を行い、地域の活性化を図ります。

３．公共的施設の整備計画（東小鹿辺地：東小鹿）

（平成 28 年度から平成 32 年度まで）　　単位：千円

区分		事業費	財源内訳		一般財源のうち辺地債予定額	備考
施設名	事業主体		特定財源	一般財源		
道路整備						
橋りょう改良　町道実光神倉線：小鹿橋	三朝町	30,000	19,500	10,500	10,500	社会資本整備事業
産業の振興						
集落営農農業機械整備補助事業	三朝町	12,000	6,000	6,000	6,000	単独事業
交通・通信体系の整備						
小型ロータリー除雪機整備事業	三朝町	4,000		4,000	4,000	単独事業
消防施設の整備						
防火用水槽整備事業	三朝町	7,000		7,000	7,000	単独事業
教育文化施設						
集落公民館整備事業補助	区	5,000	3,900	1,100	1,100	単独事業
計		58,000	29,400	28,600	28,600	